

小学校 家庭 中学校 技術・家庭（家庭分野）

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

義務教育課

本日のスライドについて

【タイトルバーが紺色】

昨年度の授業改善研修会スライド
や内容を使用しています

【タイトルバーが緑色】

今年度の内容の新規スライド
です

昨年度の取組 (R5授業改善研修会スライドより)

R5の 本日のまとめ

- 教科の問題解決的な学習の過程を教師と子どもが共有する
- 問題を見いだした後、4つのステップで子どもが課題を設定する

技術・家庭(家庭分野)の学習過程

ほぼ7ページの学習過程
解決すべき「課題」をつかむ

- 「学習計画」を立てる
- 「試し」(練習)をする
- 友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける
- 「実習」(本番)をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする

生活の中から問題を見いだして課題を設定

「学習の方向」・「目標を達成した姿」を明確に

- ① 見いだした問題を整理する
- ② 解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりを明確にする
- ③ 目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明確にする
- ④ ②と③を基に、課題を設定する

R5は、「学習過程の基本形」と「課題を設定するための手立て」を話しました

令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

家庭科

- 生活の中から問題を見いだして題材の課題を設定している

各教科等の指導の重点

- ・家庭科の問題解決的な学習の過程を教師と児童生徒が共有する。
- ・生活の中から問題を見いだした後、4つのステップで課題設定を導く。

→詳しくは、[令和5年度授業改善研修会資料参照](#)

題材の課題や学習計画を、児童生徒が

自己
決定

していますか？

昨年度の資料は、こちらから→



R5家庭科

昨年度の取組 (R5授業改善研修会スライドより)

R5の 本日のまとめ

- 教科の問題解決的な学習の過程を教師と子どもが共有する
- 問題を見いだした後、4つのステップで子どもが課題を設定する

技術・家庭（家庭分野）の学習過程

はばプラIIの学習過程

過程と基本的な学習活動

1	題材の課題を設定する。 ○生活の中から問題を思い出し、整理する。 ○見いだした問題に基づき題材の課題を立てる。 【題材の課題】 (題材の目標に到達するための大きな問い) ○学習の計画を立てて、題材の学習の促進しをもつ。
2	題材の課題の解決に必要な知識及び技能を習得するための実践的・体験的な活動をする。 【めあて】 ○実践的・体験的な活動をする。 ○見いだしたことを自分の言葉でまとめる。 ○見付きを基に、一般化した言葉でまとめる。 【振り返り】 単位時間 単位時間 単位時間
3	題材の課題の解決に向けた実践(実習)計画を作成する。 ○学習した知識や技能を活用して、課題の解決に向けた計画を作成する。 ○検討したことを基に、計画を修正する。
4	題材の課題の解決に向けた実践(実習)をする。 ○3で立案した計画に従って、実践(実習)する。 ○実践(実習)を評価する。 ※3の学習で、家庭・地域での実践計画を作成した場合は、ここは省略されます。
5	題材の課題の解決についてまとめたり、振り返りをする。 ○「題材の課題」について、まとめる。 【題材の課題】のまとめ ○4の実践(実習)や家庭・地域での実践を基に、改善策や生活に生かしたいことを考える。 ○題材全体の振り返り

子どもと共有できるように単純化すると...

解決すべき「課題」をつかむ

「学習計画」を立てる

「試し」(練習)をする

友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける

「実習」(本番)をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする

ここまで単純化(赤文字)すると、子どもと共有できる

生活の中から問題を見いだして課題を設定



「学習の方向」・「目標を達成した姿」を明確に



① 見いだした問題を整理する

② 解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりを明確にする

③ 目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明確にする

④ ②と③を基に、課題を設定する

R5は、「学習過程の基本型」と「課題を設定するための手立て」を話しました

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～家庭科の「特に現れてほしい子供の姿と重点」～
- 2 家庭科の「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」を具現化するために
～本日の授業を基に～

本日のまとめ

- 題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を
「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する
- 題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

はじめに

共通認識したいこと

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

《 取り入れたい場面 》

自己
決定

対話
交流

試行
錯誤

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱（[知識及び技能]、「思考力、判断力、表現力等」、[学びに向かう力、人間性等]）の育成を自指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
- 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等）を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

自己決定
対話交流
試行錯誤

自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り込む
対話交流 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く



学習の状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

ポイント
「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

● 水遊びの場面（水遊びおもちゃ）



水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。



子供たちが何度も試しながら、あらかじめ自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の基となる遊びが自然に行われます。

● 1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面
友達の紙と長さ比べたい。でも動かすよとが切り離れて...
リボンを使えば比べられそう。紙も動かさず比べられそう...



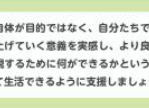
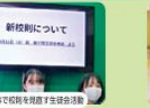
リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意しながら、長さの比べ方を考えることができました。



子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そのでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。

行事等



ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

エージェンシーを発揮（自律した学習者）

変化の激しい社会を
自分の力で
歩んでいける人

高等学校

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

ポイント

英語コミュニケーション！ 探検について考察する場面
私たちの身近な地域の探検ってどんなことがあるかな？
自分もがめやす探検するには、どうしたらいいかな？

ポイント

Your Project
To work on social issues around you and to give a presentation in English.
私たちの国は高齢化が進んでいるよ。
地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提案をすることができました。

ポイント

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

ポイント

探究活動を通して課題を思い出す場面
仲間と話し合える場面
探究できたことをアクトアウトする場面

上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習（探究）の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。

エージェンシーを発揮する「自律した学習者へ」リーフレット

1 令和6年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

家庭科

- 生活の中から問題を見いだして
題材の課題を設定している

各教科等の指導の重点

- ・家庭科の問題解決的な学習の過程を教師と児童生徒が共有する。
- ・生活の中から問題を見いだした後、4つのステップで課題設定を導く。

→詳しくは、[令和5年度授業改善研修会資料参照](#)

題材の課題や学習計画を、児童生徒が

自己
決定

していますか？

本日の授業では… C (1)

南小学校

アンケート結果をもとに問題を見だし、子どもたちが課題を設定した

対話
交流

値段はほとんどの人が見るけど、表示やマークを見ない人は思ったより多いな。

買う目的や長く使えるかどうかを考えないと、もったいないよね。

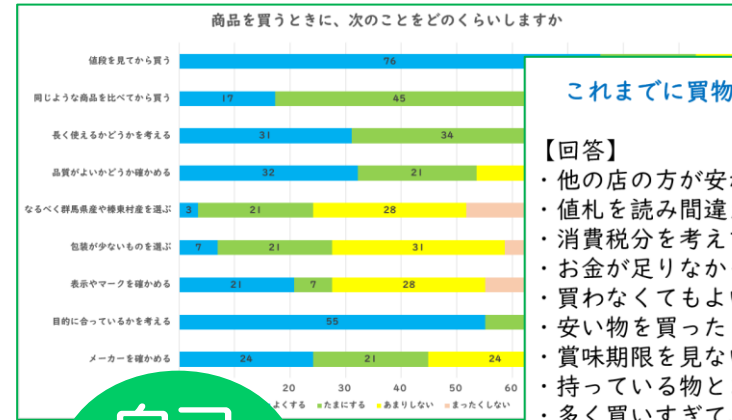
無駄にすると環境にもよくないよね。

よく考えて買い物をしないと、物だけでなく、お金や時間だって無駄になるよ。

無駄にしない買い物をできるようにするには…

試行
錯誤

【問題を見いだすための活動】 事前アンケートによる 生活場面の想起



これまでに買物で困ったことや失敗したことはありますか。

【回答】

- ・他の店の方が安かった。
- ・値札を読み間違えて、高い物を買ってしまった。
- ・消費税分を考えていなかった。
- ・お金が足りなかった。
- ・買わなくてもよいものを買ってしまった。
- ・安い物を買ったら、すぐにこわれた。
- ・賞味期限を見ないで買ったら、期限が過ぎていた。
- ・持っている物とまったく同じ物を買ってしまった。
- ・多く買いすぎて、使い切れなかった。

など

自己
決定

児童が設定した課題

自分や家族が使う物やお金を無駄にせず
使うためには、どのように買い物をした
らよいのだろうか。

2 家庭科の「姿と重点」設定の背景

◎現場の先生方の困り感解消のために、3年事業である授業改善PJで授業改善のポイントを段階的に押さえたい

【令和5年度（1年次）】

全国的に先生方が困っている課題設定の場面を学校教育の指針で示し、PJではその具体を捉えやすいB(5)で示した



B(5)のように、ゴールイメージを明確に持てる題材での実践はできるが、それを他の題材に当てはめるには、まだ壁がある

昨年度の授業改善プロジェクトにおいて

 <p>環ヶ岡小学校 見本のエプロンの観察をもとに課題を見だし、子どもたちが課題を設定した。</p>	 <p>群馬南中学校 見本のあずま袋の観察をもとに課題を見だし、子どもたちが課題を設定した。</p>	小中ともに、 B(5)生活を豊かにするための布を用いた製作の題材における、課題の設定を公開
 <p>児童が設定した課題 学校や家庭で使える、きれて丈夫な、自分の体に合うエプロンを作るには、どうすればよいだろうか。</p>	 <p>生徒が設定した課題 環境に優しく、自分や家族が使いやすいオリジナルあずま袋を作るには、どうすればよいだろうか。</p>	

・家庭科、家庭分野における問題解決的な学習の過程が分かった
・「つかむ」過程の具体的な学習活動が分かった など

・見本がある題材で、児童生徒が課題の設定をする姿や、教師の手立てはよく分かったし、実践できそうだが、**見本がない題材ではどうすればいいの？**

【令和6年度（2年次）】

- ・ 学校教育の指針の内容は令和5年度から継続する。
- ・ 授業改善PJでは、B(5)以外の題材で課題設定の場面の授業を公開し、昨年度とは別の視点から「姿と重点」の具現化について示す。

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

一つめは、
昨年度の
スライドの・・・

家庭分野における「問題」「問題を見いだす」とは

- 問題**
- ・題材の目標（よりよい生活）と現在の生活との違いや差
 - ・目標と比較して、まだできないことやまだ知らないこと
 - ・できるようにになりたいこと、知りたいことなどの思い 等

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

課題を設定するために・・・

解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりや、目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明らかにする

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

この部分を、
詳しくお伝えします

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

二つめは、
昨年度お伝えした
学習過程の・・・

技術・家庭（家庭分野）の学習過程

はばプラⅡの学習過程
過程と基本的な学習活動

子どもと共有できるように単純化すると・・・

1	題材の課題を設定する。 ○生活の中から問題を見だし、整理する。 ○見いだした問題を基に題材の課題を立てる。	解決すべき「課題」をつかむ
2	【題材の課題】 ○題材の目標に到達するための大きな問い ○学習の計画を立てて、題材の学習の見通しをもつ。	「学習計画」を立てる
3	2 題材の課題の解決に必要な知識及び技能を習得するための実践的・体験的な活動をする。 【めあて】 ○実践的・体験的な活動をする。 ○実践したことや考えたことを自分の言葉でまとめる。 ○実行を基に、一般化した言葉でまとめる。 【振り返り】 ○習得させたい知識及び技能が多ければ、この機会が多くなります。 ※「生活についての課題と実践」の題材では、この過程は省略されます。	「試し」（練習）をする 友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける
4	3 題材の課題の解決に向けた実践（実習）計画を作成する。 ○学習上の知識や技能を活用して、課題の解決に向けた計画を作成する。 ○検討したことを基に、計画を修正する。	「実習」（本番）をする
5	4 題材の課題の解決に向けた実践（実習）をする。 ○3で策定した計画に従って、実践（実習）する。 ○実践（実習）を評価する。 ※3の学習で、家庭・地域での実践計画を作成した場合は、ここは省略されます。	課題の答えを整理して、「家庭で実践」する
6	5 題材の課題の解決についてまとめたり、振り返ったりする。 ○「題材の課題」について、まとめる。 【題材の課題】のまとめ ○4の実践（実習）中獲得した知識・技能を基に、改善策や生活に生かしたいことを考える。 ○題材全体の振り返り	題材の学習全体の「振り返り」をする

ここまで単純化（赤文字）すると、子供と共有できる

解決すべき「課題」をつかむ

「学習計画」を立てる

「試し」（練習）をする
友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける

「実習」（本番）をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする

題材の学習内容に合わせた
変更についてお伝えします

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

一つめは、
昨年度の
スライドの…

家庭分野における「問題」「問題を見いだす」とは

問題
・題材の目標（よりよい生活）と現在の生活との違いや差
・目標と比較して、まだできないことやまだ知らないこと
・できるようにになりたいこと、知りたいことなどの思い 等

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

課題を設定するために…

解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりや、目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明らかにする

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

この部分を、
詳しくお伝えします

二つめは、
昨年度お伝えした
学習過程の…

技術・家庭（家庭分野）の学習過程

解決すべき「課題」をつかむ

「学習計画」を立てる

「試し」（練習）をする
友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける

「実習」（本番）をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする

題材の学習内容に合わせた
変更についてお伝えします

本日のまとめ

- 題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する
- 題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

一つめは、
昨年度の
スライドの…

家庭分野における「問題」「問題を見いだす」とは

問題

- ・題材の目標（よりよい生活）と現在の生活との違いや差
- ・目標と比較して、まだできないことやまだ知らないこと
- ・できるようになりたいこと、知りたいことなどの思い 等

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

課題を設定するために…

解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりや、目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明らかにする

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

この部分を、
詳しくお伝えします

解決すべき「課題」をつかむ
「学習計画」を立てる
「試し」(練習)をする
友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける
「実習」(本番)をする
課題の答えを整理して、「家庭で実践」する
題材の学習全体の「振り返り」をする

題材の学習内容に合わせた変更についてお伝えします

本日のまとめ

○題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を
「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する

○題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

昨年度のスライドより

家庭科・家庭分野における
「問題」とは…
「課題」とは…
「めあて」とは…

家庭分野における「問題」「問題を見いだす」とは

問題

- ・題材の目標（よりよい生活）と現在の生活との違いや差
- ・目標と比較して、まだできないことやまだ知らないこと
- ・できるようになりたいこと、知りたいことなどの思い 等

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

課題を設定するために…

解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりや、目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明らかにする

「課題」「めあて」

課題

例) ○○するためには、どのようにするとよいのだろうか。
なぜ、○○なのだろうか。 などの疑問形

題材で解決することや学習の方向、児童が目標を達成した姿をイメージできるようにするもの

めあて

例) ○○をできるようにしよう。
○○を△△するための方法を見付けよう。 など

単位時間の学習における目標や内容など、学習の見通しが明確に意識できる児童生徒向けに示された言葉

本年度の取組B（5）では…

南小学校

見本のコースターの観察をもとに問題を見だし、子どもたちが課題を設定した

対話
交流

好きな色で
つくってみたい！

練習すれば
つくれそうだよね！

家族の分もつくって、
団らんで使ったらいいよね！

人にあげるなら、きれいで
丈夫につくりたいよね！

でも、
どうすれば…

試行
錯誤

【問題を見いだすための活動】

見本となる
手作りコースターの観察



縫い方の異なる（なみ縫い・返し縫い・かがり縫い）三つのコースター

自己
決定

児童が設定した課題

自分や家族が使う手作りコースターを、きれいで丈夫につくるには、どのようにするとよいのだろう。

本年度の取組B（2）では…

南小学校

ゆでたじゃがもの試食をもとに問題を見だし、子どもたちが課題を設定した

対話
交流

私はもっとやわらかい方が好きだな。

僕はこのくらいでちょうどいいな。

じゃがいも以外もゆでたいよね！

料理はしたことないけど、ゆでることならできそうだな！

人によって固さの好みがあるから、それに合わせられるといいよね！

でも、どうすれば…

試行
錯誤

【問題を見いだすための活動】

ゆでたじゃがいもの試食
(実際の試し)



※ゆでたじゃがいも（粉ふきいも）

自己
決定

児童が設定した課題
自分や家族の好みの固さにゆでるには、
どのようにゆでるとよいのだろう。

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

○題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を
「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する

には・・・

自分事化

題材で育成する
資質・能力に着目
できる活動

×

児童生徒の

・ やりたいな！
・ やれそうだな！
・ やるべきだな！ という思い
を引き出せる活動

を選びましょう。

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

一つめは、
昨年度の
スライドの…

家庭分野における「問題」「問題を見いだす」とは

問題
・題材の目標（よりよい生活）と現在の生活との違いや差
・目標と比較して、まだできないことやまだ知らないこと
・できるようにしたいこと、知りたいことなどの思い 等

問題を見いだすための活動

- 見本となる実物の観察
- 実際の試し
- 具体的な生活場面の想起 等

解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりや、目標とする状態にふさわしい解決の条件や方法を明らかにする

問題を見いだすた

○見本となる実物の

○実際の試し

○具体的な生活場

この部分を
詳しくお伝え

二つめは、
昨年度お伝えした
学習過程の…

技術・家庭（家庭分野）の学習過程

はばプラの学習過程
親と子供の学習活動
親と子供の学習活動

子どもと共有できるように単純化すると…

解決すべき「課題」をつかむ

「学習計画」を立てる

「試し」（練習）をする
友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける

「実習」（本番）をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする

ここまで単純化（赤文字）すると、子供と共有できる

解決すべき「課題」をつかむ

「学習計画」を立てる

「試し」（練習）をする
友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける

「実習」（本番）をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする

題材の学習内容に合わせた
変更についてお伝えします

本日のまとめ

○題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する

○題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

家庭科の学習過程 (基本型)

解決すべき「課題」をつかむ

「学習計画」を立てる

「試し」(練習)をする
友達と考えを伝え合い、よりよい方法を見付ける

「実習」(本番)をする

課題の答えを整理して、「家庭で実践」する

題材の学習全体の「振り返り」をする



赤文字だけを取り出すと・・・

課題

学習計画

試し(練習)

実習(本番)

家庭で実践

振り返り

昨年度の公開授業（小学校）では・・・

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 11 時間：本時第 1 時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> エプロンの見本を観察してミシン縫いの特徴や疑問を話し合い、課題を立てる。(あ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 題材の課題 学校や家庭で使える、きれいで丈夫な、自分の体に合うエプロンを作るには、どうすればよいのだろうか。 </div>			
2	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するための学習計画と、エプロンの製作計画を立てる。(あ) 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ミシン縫いの準備やからぬいをする。(a) 			
4	<ul style="list-style-type: none"> ミシン縫いの直線縫いや返し縫いで、コースターを製作する。(a) 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ミシンを安全に操作して、エプロンを製作する。(a) 			
～	<ul style="list-style-type: none"> 周りを三つ折りにして縫う（わき、襟と裾、ひも通し） 			
10	<ul style="list-style-type: none"> ポケットを縫い、ひもを通す。 			
家	<ul style="list-style-type: none"> 製作したエプロンを学校や家庭で使用したり、他のものを製作したりする。(あ) 			
11	<ul style="list-style-type: none"> エプロンを実際に使用したり、他のものを製作したりした感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。(あ) 			

B(5)は、「学習過程の基本型」とぴったり合う

昨年度の公開授業（中学校）では・・・

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全6時間：本時第1時） ※指導に生かす評価○、評価に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> あずま袋の見本の観察を基に、布製品の再利用について考え、課題を立てる。(あ) 	●	○	○
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 題材の課題 環境に優しく、自分や家族が使いやすいオリジナルあずま袋を作るには、どうすればよいのだろうか。 </div>	○	○	○
家	<ul style="list-style-type: none"> あずま袋の製作手順を動画で確認する。(あ) (a) 再利用できる手ぬぐいやハンカチなどを調査する。 	○	○	○
2	<ul style="list-style-type: none"> 基本形のあずま袋を製作する。(あ) 	○	○	○
3	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルあずま袋の製作計画を立てる。(あ) 	○	○	○
4,5	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルあずま袋を製作する。(あ) 	○	○	○
家	<ul style="list-style-type: none"> 製作したあずま袋を使用したり、他の布製品を再利用した製作をしたりする。(あ) 	○	○	○
6	<ul style="list-style-type: none"> 実際にあずま袋を使用したり、布製品を再利用した製作をしたりした感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。(あ) 	○	○	○

B(5)は、「学習過程の基本型」とぴったり合う

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本題材でも、学習過程の基本型と合っている。

1回目の模擬購入を「試し」、
2回目の模擬購入を「本番」として位置付けている

南小学校

3 活動計画

時	学習活動	知	思	態
1	・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合っ課題をつかみ、解決するための学習計画を立てる。	「課題」		
	題材の課題 自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのように買い物をしたらよいだろうか。			
2	・買い物をするときに大切なことを話し合い、買い物の仕方を考える。	「試し」	(練習)	
3	・自分が使う筆箱の <u>模擬購入</u> をする。			
4	・家族が使うトイレットペーパーの <u>模擬購入</u> をする。	「実習」	(本番)	
家庭	・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について、意識していることや気を付けていることを家族にインタビューする。 ・自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり、それを基に実際に購入したりする。	「家庭で実践」		
5	・家族にインタビューした内容や感想、実際に購入したこと等について話し合い、題材全体の振り返りをする。	「振り返り」		

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

しかし、...

家庭での実践が、本番とも考えられる...

南小学校

3 活動計画

時	学習活動	知	思	態
1	・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合っ て課題をつかみ、解決するための学習計画を立てる。	「課題」		
	題材の課題 自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのよう に買い物をしたらよいだろうか。	「学習計画」		
2	・買い物をするとき大切なことを話し合い、買い物の仕方を考える。	「試し」 (練習)		
3	・自分が使う筆箱の模擬購入をする。			
4	・家族が使うトイレットペーパーの模擬購入をする。	「家庭で実践」 = 「実習」 (本番)		
家庭	・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について、意識していることや気を付けている ことを家族にインタビューする。 ・自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり、それを基に <u>実際に 購入</u> したりする。			
5	・家族にインタビューした内容や感想、実際に購入したこと等について話し合い、題材全 体の振り返りをする。	「振り返り」		

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

3 活動計画

時	学習活動	基本型	実習＝家庭実践型
1	・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について疑問点や調べたいことを話し合っ課題をつかみ、解決するための学習計画を立てる。	「課題」	「課題」
	題材の課題 自分や家族が使う物やお金を無駄にせず使うためには、どのように買い物をしたらよいだろうか。	「学習計画」	「学習計画」
2	・買い物をするときに大切なことを話し合い、買い物の仕方を考える。	「試し」 (練習)	「試し」 (練習)
3	・自分が使う筆箱の模擬購入をする。	「実習」 (本番)	「家庭で実践」 ＝ 「実習」 (本番)
4	・家族が使うトイレットペーパーの模擬購入をする。	「家庭で実践」	「振り返り」
家庭	・物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について、意識していることや気を付けていることを家族にインタビューする。 ・自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり、それを基に実際に購入したりする。	「振り返り」	「振り返り」
5	・家族にインタビューした内容や感想、実際に購入したこと等について話し合い、題材全体の振り返りをする。		

授業者は、以下の構想により、左側の題材構想をした

- ・誰もができる活動を本番に位置付けたい
- ・家庭実践の内容を複数用意し、実情に合わせて取り組めるようにしたい
- ・情報の収集・整理の資質・能力について、特に「整理」に取り組めるよう、模擬購入を複数設定したい

どちらの
題材構想もあり

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

3 指導及び評価、ICT活用の計画（全10時間：本時第1時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
家	・家族にインタビューをし、自分の成長を振り返る。(あ)			
1	・自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、幼児との関わりを考え、課題を立てる。(い) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 題材の課題 幼児も保護者も安心できるように、中学生として地域の幼児とどのように接するとよいのだろう。 </div>		①	
2	・課題を解決するための学習計画を立てる。(い)			
3,4	・幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身の発達の特徴について話し合う。(あ)(い)(a)	①		①
5	・幼児と中学生の生活時間を比較し、幼児の生活習慣や、幼児にとっての家族の役割について話し合う。(い)(a)			②
6,7	・幼児の遊びの意義や幼児との関わり方を調べ、ふれあい体験計画を立てる。(い)(a)	②		③
8	・模擬ふれあい体験を行い、計画を見直す。(い)(う)		③	
9	・幼稚園で、幼児とのふれあい体験をする。			
10	・幼児と関わった感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。(あ)			

「課題」

「学習計画」

「試し」 (練習)

「家庭(地域)で実践」 = 「実習」 (本番)

「振り返り」

幼稚園でのふれあい体験を
どう位置付けるかによって

家庭(地域)で実践=実習(本番)の題材
あるいは、
家庭実践が位置付かない題材もある

3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

○題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

には・・・

基本型

「課題」

「学習計画」

「試し」(練習)

「実習」(本番)

「家庭で実践」

「振り返り」

実習＝家庭実践型

「課題」

「学習計画」

「試し」(練習)

「実習」(本番) = 「家庭で実践」

「振り返り」

家庭実践無型

「課題」

「学習計画」

「試し」(練習)

「実習」(本番)

「振り返り」

複数のパターンで題材構想をしておき、
児童生徒と共に決めましょう。

教師も
共に学ぶ学習者



3 特に現れてほしい姿と重点を具現化するために

本日のまとめ

- 題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する
- 題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

○題材に応じて、生活の中から問題を見いだすための活動を「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する

には・・・

自分事化

題材で育成する
資質・能力に着目
できる活動

×

児童生徒の

- ・やりたいな！
- ・やれそうだな！
- ・やるべきだな！という思いを引き出せる活動

を選びましょう。

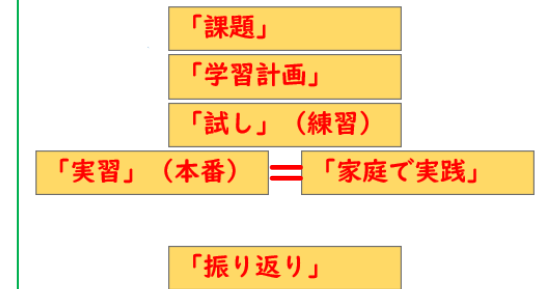
○題材の学習内容に合わせて、家庭科の学習過程を柔軟に変更する

には・・・

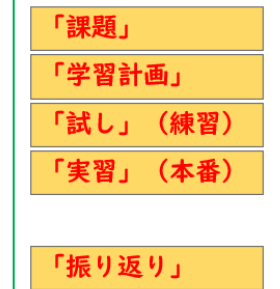
基本型



実習＝家庭実践型



家庭実践無型



複数のパターンで題材構想をしておき、

教師も
共に学ぶ学習者

児童生徒と共に決めましょう。

自己決定

対話
交流

試行
錯誤

児童生徒の学びの環境を整え、信じて任せましょう